

学校教育目標
ふるさとの恵みに感謝し
活力ある児童の育成
○いのちを大切にする子ども
○自ら学ぶ子ども
○気品のある子ども

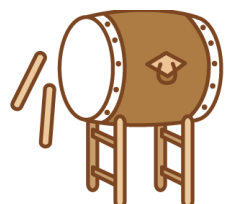


もみの木



日光市立日光小学校
令和7年8月号（第5号）

TEL 0288-54-0070
FAX 0288-54-0457
H P <https://www.nikko.ed.jp/nikko/>



地域と共に進める教育を



8月27日から2学期が始まります。子供たちは、夏休み中に大きな事故や事件に遭わずに無事に過ごせたようです。これもひとえに、保護者の方はもちろん、地域の皆様に見守っていただいたおかげと、感謝いたします。

さて、2学期も運動会をはじめ、スケート教室や各学年の学習等、教育活動上の様々な取組があります。それらの行事や地域と共に取り組む教育活動を通して、学校教育目標「ふるさとの恵みに感謝し、活力ある児童の育成」に向けて更に深められるように取り組んでいきたいと思ひます。

いよいよ2学期がスタートします。今学期も1学期同様、地域・保護者・学校が一体となって教育の営みがより充実したものとなりますよう、保護者も皆様、地域の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

【2学期 地域の方々と共に取り組む活動】

学年	内 容	実施時期
全校	運動会前環境整備（校庭除草）	9月
	運動会（和楽踊り）	9月
	落ち葉掃除	11月
	スケート教室（スケート技術講師）	12月・1月
3年	総合体験学習（にっこうキスゲ補植）	10月
	総合体験学習（イワナの放流）	11月
5年	総合体験学習（地域を知る活動）	10月
	家庭科（ミシン学習）	11月・12月
6年	総合体験学習（日光の祭り）	10月
	家庭科（ミシン学習）	11月・12月
	読み聞かせ 図書室整理	9月～12月

子供たちの豊かな育ちのために、地域の方々へ随時御依頼させていただきます。
どうぞよろしくお願いいたします。



第1回家庭学習強化期間を終えて

学習指導主任 大嶋 知之

本校では、子供たちのよりよい学習習慣の定着と学力の向上を図ることを目的に、6月16日から6月27日までの12日間を「第1回家庭学習強化期間」として設定し、全校で取組を行いました。今回の強化期間における重点として、1年生は「学習する習慣を身に付けること」、2～6年生は「自主学習の内容を工夫して取り組むこと」を視点に、それぞれの発達段階に応じた支援を行ってきました。

【平均学習時間から見える成果と課題】

家庭学習強化期間では、「学年×15分」を1日あたりの学習時間の目安として設定しています。今回の各学年の平均学習時間は、以下の通りです。

学年	目安時間	平均学習時間
1年	15分	23分
2年	30分	32分
3年	45分	41分
4年	60分	46分
5年	75分	62分
6年	90分	68分

どの学年においても、家庭学習に対する意識が高まり、毎日継続して学習に取り組もうとする様子が見えられました。特に1・2年生では、目安時間を上回る学習時間を確保しており、「まずは机に向かう習慣をつける」という点で大きな成果が見られました。一方、3～6年生では、目安時間に届かなかったものの、自主学習の内容に工夫が見られるようになってきています。今後は、「学習時間」と「学びの質」の両方のバランスを意識することで、より充実した家庭学習へとつながっていくと考えています。

【保護者の方からの声】

今回の子供たちの取組に対して、多くの保護者の皆様から温かいコメントをいただき、子供たちの励みになりました。御協力ありがとうございます。その一部を御紹介いたします。

- ・「気持ちを込めて音読するのが上手になったと思います。聞くのも楽しかったです。」（1年生 保護者）
- ・「自分が苦手なことを目標にして頑張っていて、かっこよかったです。」（2年生 保護者）
- ・「2年生の時は自分からやることができなかったのに、今年は自分で積極的に取り組めていましたね。」（3年生 保護者）
- ・「難しい漢字が増えて苦労していましたが、毎日一生懸命頑張っていました。」（4年生 保護者）
- ・「自主的に自主学習ノートに学習したいことを書けるようになったことに5年生としての成長を感じました。」（5年生 保護者）
- ・「毎日自分で考えて学習することができました。苦手なことにも進んで取り組むことができて、えらかったね。」（6年生 保護者）

次回の家庭学習強化期間は、10月27日から11月7日を予定しています。学びは一朝一夕に身に付くものではありません。今回の取組で得た学習習慣を、日々の生活の中で継続的にしていくことが確かな学力の土台となります。学校では、今後も子供たちが取り組んだ家庭学習を丁寧に見とりながら支援してまいります。御家庭でも、引き続き子供たちへの声掛けや励ましを通して、子供たちの学びを後押しいただければ幸いです。

